

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2014年7月16日

仙台・六郷児童館「オリジナルうちわ作り」

今日は、お母さんと子どもたちで楽しむ「オリジナルうちわづくり」です。

昨年までのメンバーがほとんど幼稚園や保育園に進んだため、多くが初めての顔です。

材料は、再生紙でつくった無地のうちわ本体と、様々な画材たち。マジックペンやポスカ、クレヨンで絵を描くひが多かったのですが、次第に違う材料にも興味が向きます。子どもたちは、シールやボタンが大好き。まだ小さな子が多いので、ボタンをまき散らしてお母さんに怒られ泣いてしまったり。思うように材料がつかえなくて姉妹でけんかになったり。と、狭い図書室は、いろんな声でいっぱいになります。うちわに貼り付けたポンポンが、あっという間にてんとう虫。持ち手には、ボタンとモールでつくったチョーカーのような飾りがついたりします。

シールの折り紙に感激したお母さんからは、「これどこに行けば買えるんですか？」との質問も。うちわは両面あるのですが、断固として片面しか制作しなかった、強い意志を持った女の子。うちわからシールの折り紙、リボンなどがはみ出し、それがテーブルにくっついていることも気に留めることなく、魅力的な作品を着々と仕上げている子もいましたね。

初めて、ARTS for HOPE のワークショップに参加した方がほとんどだった今回。児童館の先生からも「まだみんな慣れていないのかなあ。はじけ方がもうひとつだったかもしれませんね」と。今までの、強烈な個性ある作品の宝庫だった六郷児童館！今回は、ちょっとお上品な作品が多かったみたいです。

